

今週のモーニングセミナー報告

令和4年6月22日(水)の講話 <第897回>

テーマ： 純粹倫理の三つの特徴

講師：(一社)倫理研究所 理事 野中産業(株) 代表取締役 野中 真一郎 様

(熊田輝司 専任幹事) 会員スピーチ：以前秋津書道を学んでいる赤山さんから、文字は心の表れですと最近の私(熊田さん)の文字が変わってきたことを話されました。その背景についてお話します。以前は人前にいると文字が震えたり、金縛りにあったようになっていました。素面の自分でいられないことからカウンセリングを受けて、心の悩みを解放し、無条件で人に従うことから、嫌われてもいい、自分はこういう生き方をするんだという本音で生きる事、笑顔で生きる事を、心がけるようになりました。文字はその人の心の表れだと思います。最近の心の変化と文字のことを話され、なるほど〜と納得できるスピーチでした。

(野中 真一郎 倫理研究所 理事) いきなり短歌2首、畳敷きの会場の雰囲気ですら1首、木杵に取り付けた行動旗や明るい会場について1首。しきなみ短歌会で学んで会場に入ってから読んだ短歌の披露。昨夜の倫理経営基礎講座に引き続いて、MS講話「純粹倫理の三つの特徴」レジメの内容から、①徳副一致の体験談。②実践は割愛、③心が先行する。高速道路で仕事の事を考えながら運転していると、降りるべきインターを通り過ぎてしまうことがある。スーツのズボンを探してなかなか見つからない時、実は自身でそのズボンを履いていた。心と身体が違うことを指摘。遠く離れた人と繋がっている。不平不満は万病のもと。<心>⇒体 ⇒人 ⇒物 ⇒自然 古い洗濯機がダイヤル式だったが、買い替える時にダイヤル操作で動かなくなった。その時大切にしようと改めて扱おうと、一度だけダイヤル操作に作動して動いてくれた。車にも名前を付けている、菊池寛に倣って納車の時「寛ちゃん」と言って披露した。物は大切にすると、車も調子が良い。栗P6「ふんわりと、やわらかで、何のこだわりも不足もなく、澄み切った張りきった心、これを持ち続ける事。会社の倉庫建設にまつわる苦難と倫理指導の実践結果。体験を交えてわかりやすいご講話でした。

担当者：赤山 芳隆

マイカーに寛ちゃんという名前を付ける。洗濯機にも名前を付け、物はこれをいかす人にあつまるの話をされました。また倉庫を建てた時は会社や自分のためではなく、社会のためだと話をされました。前日の経営者の集いでは苦難について話され野中理事が子供のことですごく大変な想いをされたのを聞いて驚きました。私も3人の子供がいるので勉強になりました。モーニングセミナーの後は昌山さんと3人で朝うどんを食べに行き野中さんも祖父が立ち上げた会社の3代目としての話をしてくれました。昌山さんも私も後継者なので学ぶことが多くありました。また車で野中さんを送ったりする中での会話も倫理法人会の運営についても学ぶことが多くありました。ありがとうございました。

会長：松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは6月29日(水)朝6:00~7:00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「こけ枝の日々笑日」と題しまして公益社団法人上方落語協会 桂こけ枝 様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 18社 18名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001
メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp